

CASBEE大阪 OF THE YEAR 2014 表彰候補建築物 採点結果一覧表

No.	2	表彰部門	商業施設その他						
建築物名称	大日本住友製薬新化学研究棟(LR-12)								
建築主	大日本住友製薬(株)								
設計者	プランス(株)、(株)竹中工務店								
建設地	此花区春日出中3丁目								
建物用途	研究所、事務所								
ランク	A	BEE値	1.9	公表	H24-57	工事完了	25年5月	受付	H23-53

【CASBEE大阪みらいの総合評価】

(BEE値を15点満点に換算)	5 / 15	A
-----------------	--------	---

【設計上の配慮事項等の評価】

①独創性・先進性		平均点 (平均評価点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫がなされ独創的な取組があるか ・新しい技術が活用され先導的取組があるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・執務スペースと研究スペースを隣接させながら、環境制御を完全に分け、光・熱・空気、それぞれにタスク・アンビエント制御を行っている。パッシブ技術を積極的に導入し、また、研究機器に特化した工夫がある。 ・ハードの設備でのエネルギー削減効果が極めて良い。 ・顕熱・潜熱を分離したパーソナル空調や換気計画、ライトシェルフや照明方法の工夫による省エネなどにより大きな効果を上げている。 ・研究所という建物用途から、換気に伴う熱負荷が大きい建物であるが、効率の高い熱交換器を設けることで大きな省エネ効果を達成している。また居室に設けられたライトシェルフにより採光性能を高める工夫などシンプルで効果的な技術が用いられている。 ・快適性と省エネに配慮した執務エリア、外気負荷低減に配慮した空調換気計画を実現した実験エリア などを実現。執務空間の目新しさはそれほど感じないが、実験エリアとしては面白いように思う。 ・効率優先で単調になりがちな空間配置について、廊下を少し折り曲げることやコミュニケーションHUBを設けることで工夫を凝らしている。 	5.0 (3.3)	
②調和性・統合性		平均点 (平均評価点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容は合理的で効率的か ・計画内容は、建築デザインにうまく取り込まれているか。 また、周辺まちなみとの調和を図っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウトは合理的である。ただし、やや無機的な印象を受ける。 ・工場内、外部への外観配慮がなされている。 ・施設の性質上殺風景な感じは否めないが間接照明は効果的。 ・様々な省エネ技術の利用と施設利用者の快適性を両立させる取り組みは評価できる。施設の用途のために緑化が図れないため周辺環境の改善には貢献していないのが残念。 ・工場敷地内に立地する建物という特性から周辺街並みとの関わりは小さいが、建物外観において巨大な壁面をデザイン的に分節化することで、周辺環境へ威圧的にならないような景観的配慮が為されるなど街並みへ調和する取り組みがある。 ・桜島線の車窓からは、端正なファサードが目に入った。 ・ダブルスキン、アンビエント照明など。 	3.8 (2.5)	
③取組姿勢		平均点 (平均評価点)	
<ul style="list-style-type: none"> ・建築主の環境配慮への積極的な取組姿勢が伺えるか。 また、その取組姿勢が、他の建築主の規範となりうるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究施設として、積極的に取り組もうという姿勢は随所に伺えた。 ・CASBEEに対する関心が高い。 ・技術系のまじめさが感じられる。 ・グリーンラボの思想が施設計画に十分生かされている。 エネルギー消費量を職員に毎月フィードバックするなど啓発にも努めている。 ・日射熱負荷を抑制するダブルスキンや高効率冷凍機の採用など、建物設備の各所に省エネルギー化のための取り組みがみられ、環境配慮への積極的な姿勢が現れている。 ・現地のプレゼンテーションはポイントを抑えられており、わかりやすかった。 	4.2 (2.8)	
合計	13.0	平均評価点 8.6 / 10	B

※ A+B が評価点の合計(25点満点)となる。

評価点の合計

13.6



大日本住友製薬新化学研究棟 (LR-12)

所在地：此花区春日出中 3-1-98

主用途：研究所、事務所

事業者：大日本住友製薬株式会社

設計者：プランス株式会社/株式会社竹中工務店

〔建築概要〕

延床面積：16,322.32m²

階数：地上8階

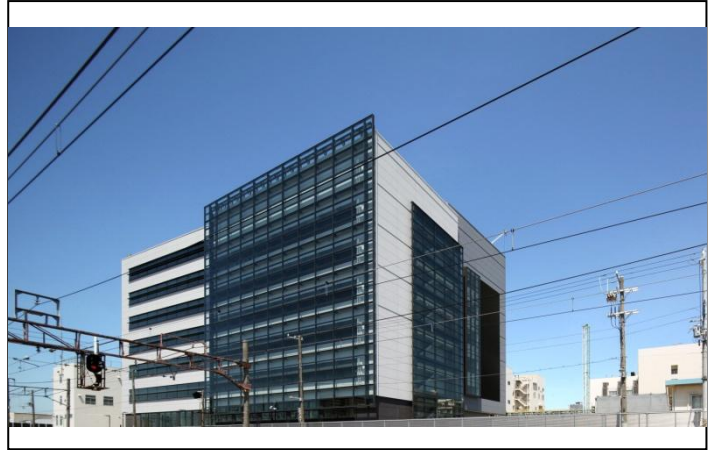
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

完了：平成25年5月

〔CASBEE 大阪における評価〕

サステナビリティランキング：A

建築物の環境性能効率 (BEE)：1.9



■コンセプト

人と地球に配慮した施設環境の構築

—GreenLaboratory の実現を目指した省エネルギー対策を実施

【独創性・先進性】

- ・執務エリアは快適性と省エネに配慮した照明空調計画を実現
空調：顕熱潜熱分離空調＋放射兼用パーソナル空調
照明：ライトシェルフ＋人感センサー制御＋明るさセンサー制御
＋タスクアンビエント照明
- ・実験エリアは排熱回収やヒュームフードのサッシ開度と連動した高速 VAV 制御及びヒュームフードサッシの人感センサー制御などを採用し、外気負荷低減に配慮した空調換気計画を実現



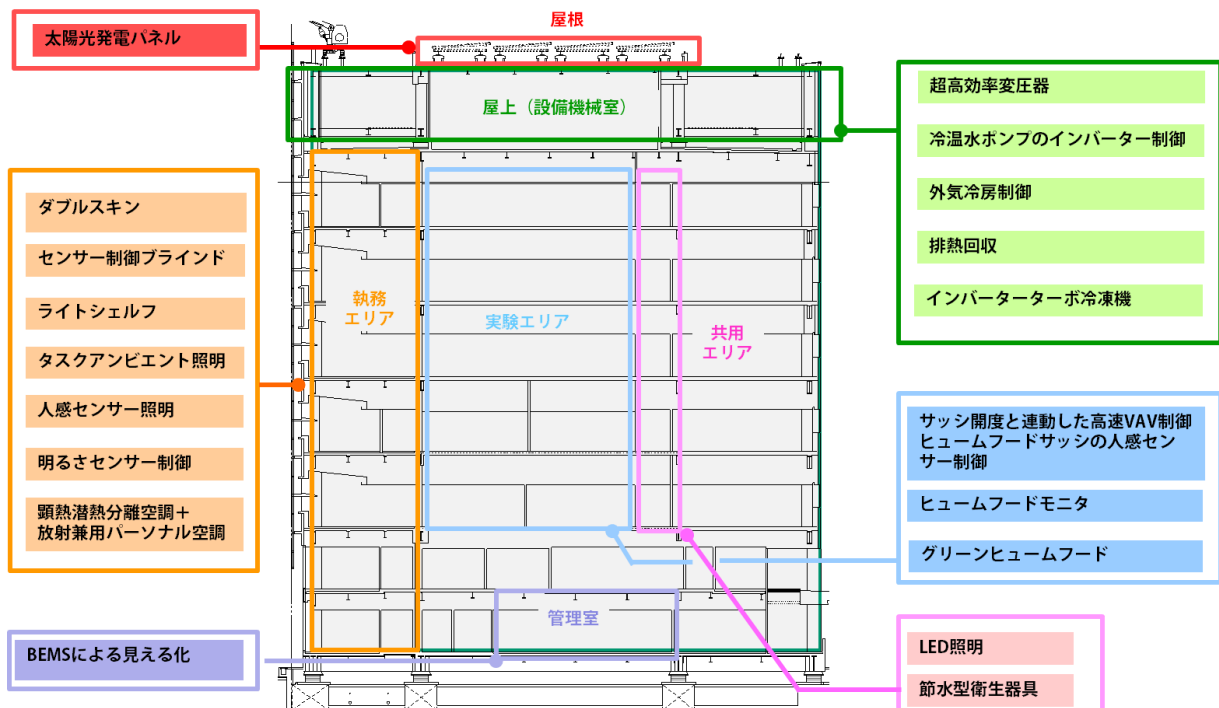
執務エリア

【調和性・統合性】

- ・建物南側のダブルスキンは日射の抑制と南側への圧迫感を低減するデザインを実現
- ・設備機器については屋上目隠し壁内に配置し、周辺のまちなみや風景に配慮
- ・南側窓際の執務室については、アンビエント照明を間接照明とすることで外部への光害に配慮

【取組姿勢】

- ・エネルギーを多く消費する傾向がある医薬研究施設において下記に示す様々な環境配慮技術を採用
- ・BEMS によるエネルギーの見える化により運転改善計画に配慮



環境配慮技術のまとめ